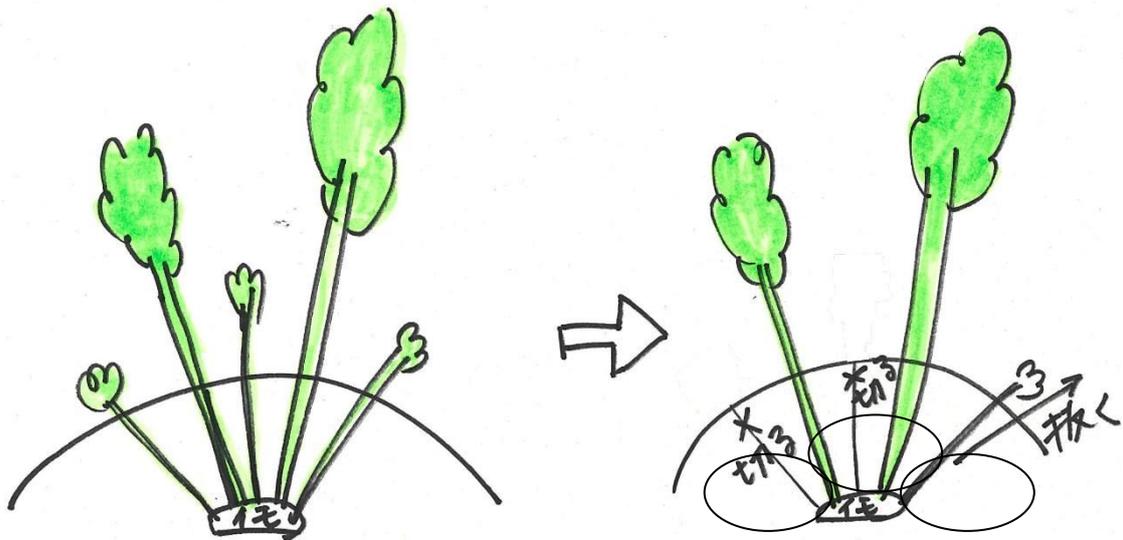


## 市民農園の質問箱に対する回答

市民生活部農業振興課

農園名	<input checked="" type="checkbox"/> 北中沢 <input type="checkbox"/> 東道野辺 <input type="checkbox"/> 西佐津間
氏名	■■■■■■■■■■
質問日	令和 4年 7月 1日
質問内容	<p>ジャガイモについて          今年は既に収穫が終わっていますが、毎年「種いも（キタアカリ）」を買って植付けています。農業振興課発行の「手引き」の栽培のポイント欄の「ジャガイモ」には、芋を大きく育てるためにはタイミングよく芽かきをする、と記してありますが、このタイミングと芽かきという意味が良くわからず、毎年芋が小さいのですが。初歩的のことで申し訳ありませんが、これのご教示をよろしく願います。できることなら図示して頂ければ有難いです。</p>
回答者	<input checked="" type="checkbox"/> 鎌ヶ谷市農業士等協会 <input type="checkbox"/> 東葛飾農業事務所 改良普及課 <input checked="" type="checkbox"/> 鎌ヶ谷市農業振興課
回答日	令和 4年 7月 15日
質問区分	育て方
回答内容	<p>ジャガイモの育て方のポイントとして、毎年新しいイモを買うというのがあり、毎年購入されているのはとてもよいことです。</p> <p>大きいイモを収穫するには、植え付けからいくつかポイントがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・植える2週間前までに堆肥や元肥を入れ、土となじませておく。</li> <li>・植えるタイミングは、3月のお彼岸過ぎにする。早く植えると、芽が霜にやられるので、4月に入ってからでも大丈夫。</li> <li>・種イモには芽が出るところが何か所かあるが、種イモが大きい場合は、芽が出るところが必ず入るよう、50グラム程度に切り分けてから植える。</li> <li>・以前は切り口に木灰を付けることもあったが、最近では切り口を丸1日乾かしてから植えつける。</li> <li>・大きい種イモをそのまま植えると、初期成長が良く芽がたくさんできてしまい、芽かきが大変になってしまうが、小さすぎるのもうまく育たないので、50グラム以上になるように切り分ける。</li> <li>・切り口を上にして種イモを植えると、芽が一度下向きに生えてさらに反対に伸びるため、強い芽だけが残る、芽かきが不要になる場合もある。</li> </ul> <p>芽かきですが、芽が伸びて葉がある程度茂り、15センチ以上になったころに、一株につき2本くらいになるように、小さい芽を取ります。株ごと抜かないよう、残す芽と株元を抑えながら引き抜くか、ハサミで根元からカットします。</p> <p>そのあと、土寄せをします。最初に堆肥や元肥をちゃんと入れてあれば、追肥は不要です。</p> <p>ジャガイモは春と秋に植え付けできますが、秋植えでは種イモを切りません。小さめの種イモをそのまま植えつけるイメージです。</p>



芽かきのイメージ。

大きい芽を2本残し、小さい芽を根元から切るか、残す芽を抑えながら抜きます。芽かきをした後は、しっかり土寄せし、イモができる場所を確保します。

右側の絵の  で囲んだ部分にイモができるので、株元にしっかりと土を載せること（土寄せ）。土寄せが足りないと、イモが大きくなり、直射日光が当たってイモが緑色になってしまいます。

茎が30センチほどに育ったら、2回目の土寄せをします。

土寄せを2回するので、広めの間隔（70～75センチ）を取り、しっかり土寄せすることで大きなイモが育ちます。

収穫のタイミングは、花が終わって葉が枯れてからです。葉っぱが青々としているときはまだ光合成しているので、枯れるまで待ちます。